



「仕事がない」「生活が苦しい」「将来が不安」

この声にこたえ日本共産党は実行します

これでいいのか オール与党県政

県民のための施策を 次々廃止・縮小

自民・民主・公明

国保への県独自補助を廃止

埼玉県の国保税は全国平均より1人あたり7000円も高いのに、県は市町村国保への県独自補助を廃止。高い国保税に拍車をかけています。

福祉施設職員の 待遇改善も廃止

劣悪な福祉施設職員の待遇を改善するために支給されていた待遇改善の県独自補助も「県の仕事ではない」と廃止しました。

県立高校も保健所も減らす

在校生や卒業生、父母の切実な声に背をむけ、2013年までに県立高校を20校、定時制高校を14校廃校にする計画をすすめています。

地域の保健医療の拠点となる保健所の統廃合も地域の反対を無視してすすめています。

くらはしは全国最低クラス

- 老人ホーム数(人口比)・・・46位
- 保育所数(人口比)……………45位
- 医師数(人口比)……………47位

議会改革の 提案

- すべての議員の発言権を保障します。
- 公聴会や議会報告会などの開催で県民の意見を議会の審議に反映させます。
- 高すぎる議員報酬や県政調査費を2割削減します。

仕事と雇用をふやし

- **住宅リフォーム助成制度の創設を**
経済効果抜群のこの制度。知事も「検討させる」と議会で約束しました。
- **特養ホーム・保育所を増設**
特養ホーム待機者は15000人。地域密着型公共事業は地元業者の仕事を増やします。
- **若者の就業と自立を支援**
ヤングキャリアセンター、若者自立支援センターを県内各地に。
- **価格・所得保障で埼玉農業の再生を**
首都圏に新鮮な農産物を供給する埼玉農業。積極的な振興策を実施します。



地域を元気にする県政に

大企業やムダな大型開発優先ではなく、雇用の創出、地元中小企業がうるおう経済戦略を県政から発信します。

負担を減らし 福祉の充実で

- **国保税、介護保険料の引き下げを**
市町村国保への県の補助を復活し、1世帯1万円の引き下げを。高齢者の介護や医療費の負担を軽減します。
- **子ども医療費を中学卒業まで無料に**
県制度は現在就学前まで。入通院とも中学卒業まで窓口負担を無料に。
- **24時間365日の小児救急医療体制を**
救急医療体制の整備は県民の命にかかわる問題です。
- **30人学級の実施、父母負担の軽減を**
どの子にもゆきとどいた教育を。私学助成を充実します。

家計をあたためる県政に

負担を増やし、福祉を切りすてる自・民・公のオール与党県政でいいのでしょうか。県政の流れをくらし・福祉優先にきりかえるときです。

埼玉県の「財政力」は 全国6位

埼玉県の予算総額は2兆3266億円。財政力は全国6位です。この予算をくらし、福祉、教育、中小企業振興に使います。ハッ場ダム建設、本庄新都心建設、スーパー堤防建設などは中止・見直します。



県民の願いに各党は

請願への態度 賛成○ 反対●

	共産	自民	民主	公明
30人学級の実現(08年12月)	○	●	●	●
子ども医療費助成の充実(09年2月)	○	●	●	●
TPP参加反対(10年12月)	○	●	●	●